

セーフティサブアセッサケーススタディ試験解答例

下記資料に基づき、リスクアセスメントを行います。

- ・作業イラスト
- ・装置説明書(装置名、装置部位、装置部品の機能、仕様、動作など)
- ・作業説明書(作業工程名、作業内容など)
- ・危険区分リスト(JIS B 9700:2013 付属書Bに基づき整理したもの)
- ・リスク見積もりマトリックス表(ISO TR14121-2 2012に基づき整理したもの)

各資料と解答用紙の関係とその記入例は下記のようになります。

No.	1)危険源(部位)	2)危険区分		3)作業工程	4)危険事象	5)リスクの程度			6)現状の評価
	①主軸~⑮ワークコンテナ	原因 AA~JA	結果 Aa~Ja	1.電源ON~ 23.切くず掻き出し	誰が何をしている時、何がきっかけで、 どのようなことが起こってどうなるのか? その危害の程度は?(具体的に記入)	危害の 程度	危険事象 発生確率	リスク レベル	○:許容可能 ×:許容不可
1	①主軸	AM	Ac	4.ワーク取付	作業者が主軸にワークを取り付ける際に、 誤ってフットスイッチを踏んでしまい、 閉まるチャックとワークの間で指を挟んで骨折	S3	P3	IV	×
2									

・装置説明書

装置名	内容
A NC旋盤	ワークを回転させ、固定した工具 ワークが回転するため、加工品は ワークを油圧の3爪チャックで 最大把握力120kN、最大油圧3MPa バイトを固定している台、前後左右 最大移動力100kN、最高移動速度 ワークを削る刃物工具。
① 主軸	クーラントノズル
② 刃物台	クーラント
③ バイト	扉
④ クーラントノズル	リミットスイッチ
⑤ クーラント	フットスイッチ
⑥ 扉	
⑦ リミットスイッチ	
⑧ フットスイッチ	

・危険区分リスト

A 機械的危険源	
原因	結果
A 加速度、減速度	a ひ(轢)かれる
B 角張った部分	b 投げ出される
C 固定部分への可動要素の接近	c 押しつぶし
D 切断部分	d 切傷又は切断
E 弾性要素	e 引込み又は捕捉
F 落下物	f 巻き込み
G 重力	g こすれ又はすりむき
H 床面からの高さ	h 衝撃
I 高圧	i 噴出による人体への作用
J 不安定	j せん断
K 運動エネルギー	k 滑り、つまずき及び墜落
L 機械的可動性	l 突き刺し又は突き通し
M 可動要素	m 窒息
N 回転要素	
O 粗い、滑りやすい表面	
P 鋭利な端部	
Q 蓄積エネルギー	
R 真空	

・リスク見積もりマトリックス表

危険事象の 発生確率 (P)	危害の程度(S)			
	S4	S3	S2	S1
P4 ほぼ確実に発生する	IV	IV	IV	III
P3 発生することがある	IV	IV	III	II
P2 発生しそうにない	III	III	II	I
P1 ゼロに近いほど発生しそうにない	II	II	I	I

※10個を超える危険源を挙げても評価対象とはなりません。解答は欄内に収めてください。